

ローンボウルズ活動における

新型コロナウイルス感染再発防止のためのガイドライン

2020年7月23日 現在

NPO 法人ローンボウルズ日本

A. 活動参加者の遵守事項

1. 次のような人は活動参加しないこと

- 1) 体調の悪い人：発熱、せき、のど痛み、倦怠感、息苦しさ味覚・嗅覚異常、
などのある人
- 2) 家族に、上のような体調不良者がいる人
- 3) コロナ感染者との濃厚接触経験のある人（但し、その後2週間以上経過して無症状の人
あるいはPCR検査を受けて陰性と判定された人は除く）
- 4) 過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、
地域等への渡航者又は当該地在住者との濃厚接触がある人

2. 万一、活動参加中に気分不調、体調不良などを感じた場合は直ちにリーダーに申し出て 休憩あるいは退場をすること。また、他人にそのような兆候があることを発見した人も 直ちにリーダーに報告して、本人を休憩あるいは退場させること。

3. 活動に参加する人が守ること

- 1) 朝来て詰め所に入るときには先ず手を洗うか消毒してから入場すること。
プレーが終わって帰宅する前にも手を洗うか消毒してから退場すること
- 2) 必ずマスク着用して来場し、プレーすること。
(ただし、暑い日で熱中症になる恐れのある場合は、リンク内を移動するときは
マスクを一旦外していてもよいことにする。バンク上で待機しているときや、
他人と同席で休憩するときはマスクを着用すること。)
- 3) 必ず自分専用のタオルを持参し、それで手、顔をふく事。
その他の用具についてもできるだけ他人が使用している物には触れないよう
にすること。
- 4) ハウスボウルを使用する場合は、消毒液あるいは石鹼水で表面を洗浄してから
使用すること。
使用後に返却する場合も同様にすること。ジャックについても同じ。
また、ボウル拭きタオルは共用のものは使用せずに、必ず自分専用の物を持参する事。
- 5) プレー中にマットに触れるのは出来るだけ一人に限定すること。
- 6) 他人と必ず距離（できるだけ2m以上）を取り、濃厚接触を避けること
- 7) 大声での会話禁止。つばや痰をはくことの禁止。
- 8) 詰め所内で休憩あるいは食事をするときには3密状態にならないように注意すること
できるだけ食事は室外で取るのが望ましい。
- 9) トイレは清潔に保つようにこころがけ、使用したら周囲に消毒液をかけるのが
のぞましい。
- 10) 自分の出したごみ等は必ず自分で持ち帰ること

- 11) 万一、後日にコロナ感染が判明し、その原因がローンボウルズ場に来場したことによるかも知れないと自覚した場合は、すみやかにその状況を関係者に報告し、感染拡大防止に協力すること
- 12) スマホを使用している人は、国が推奨している「新型コロナ追跡システム」あるいは兵庫県が推奨している「兵庫県新型コロナ追跡システム」を活用すること。

B. 活動主催者の遵守事項

練習会や大会等のイベントの責任者は次項を準備または確認すること。

- 1) 手・指の消毒用せっけんあるいは消毒液を詰め所内に配置
- 2) 詰め所内の換気
- 3) トイレの消毒
- 4) 注意事項の貼り紙掲示

C. 競技特性上で気をつける事項

ローンボウルズは激しい身体接触等をとまなうスポーツではないが、屋外の炎天下で長時間（約1ないし2時間以上）継続する運動であるので新型コロナウイルス感染もさることながら、熱中症リスクの方がより高いともいえるので、こまめな水分補給、適度な休憩、A-2-2)の注意事項などに十分に気をつけること。

D. 障がい者が気をつける事項

ローンボウルズは激しい身体接触等をとまなうスポーツではないため、健常者でも障がい者でも平等に競技し楽しめるスポーツとして日常的に一緒に活動している。したがって新型コロナウイルス感染対策として特別に差異を付ける事項は無いが、万一感染した場合は障がい者の方が基礎疾患を有する 경우가多く重篤化する可能性が高いので、上記の遵守事項の徹底についてはより慎重に取り組んでいただくこと。

以上